

あけぼの杉

初代同窓会会長 藤田啓介博士筆

藤田学園同窓会

住 所 豊明市沓掛町田楽ヶ窪
1番地98

発行人 藤田学園同窓会

発行日 令和3年12月25日



改修なったメガネ池でくつろぐカルガモ親子

目次

P. 2	藤田学園同窓会会長ご挨拶	P. 12	2月：国内初！ロボットによる自動PCR検査システム設置
P. 3	学校法人藤田学園理事長ご挨拶	P. 13	3月：2020年度卒業証書・学位記授与式・国家試験結果
P. 4	藤田医科大学学長ご挨拶	P. 14	4月：2021年度入学式 新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました
P. 5	藤田医科大学病院病院長ご挨拶	P. 15	5月：ばんだね病院新棟の建設工事が始まりました！ 近隣自治体市民への新型コロナウイルスワクチン献呈が完了しました
P. 6	藤田医科大学看護専門学校長ご挨拶	P. 16	6月：THE Asia Universities Summit 2021 開催
P. 7	学園の1年 9月：新型コロナウイルスワクチンEXG-5003の 第I/II相試験を実施	P. 17	7月：豊明校地で利便施設棟の建設が始まりました
P. 8	10月：各拠点で防災訓練を実施 中部初！第1病院が母乳バンクのドナー登録施設に	P. 18	8月：新設センター紹介パーキンソン病センター 岡崎医療センター新病院長ご挨拶
P. 9	11月：中部国際空港PCR検査センターが開所	P. 19～20	恩師からのお便り
P. 10	12月：七果記念病院と入居農林高校がオンラインクリスマス会で交流	P. 20～23	同窓会からのお知らせと総会報告
P. 11	1月：藤田啓介総長の肖像画除幕式を挙行	P. 24	2022年度入学試験スケジュール





一般社団法人
藤田学園同窓会
会長

松山 裕宇
(医学部6回生)

「我ら弱き人々への無限の
同情心持て、片時も自己に
驕ることなく医を行わん」

卒業生の皆様におかれましては、お忙しい日々をお過ごしのことと拝察いたします。あけぼの杉がお手元に届く頃、新型コロナ感染第6波は到来していないことを願いつつこの原稿を書かせて頂いています。

新型コロナ感染症に翻弄されたこの2年間、各病院や医療施設を含む医療機関では、大変な負担に耐えながら現場業務に携わっておられたことでしょう。皆様の社会貢献に対しまして、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、私ども地域医療の現場でも大きな変革を強いられました。感染対策に重点を置く診療体制の変化は勿論ですが、その業務遂行には、IT(情報技術)を用いなければ対応出来ないことばかりでした。

例えば、

- 1)「HERSYS」：新型コロナ感染者発生を可及的早期に報告、
- 2)「GMIS」：新型コロナ検査数の日次報告、
- 3)「S-WMS」：ワクチン発注アクセスサイト、
- 4)「V-sys」：ワクチン接種後の接種数・接種対象・破棄数の日次報告、
- 5)「VREC」：ワクチン接種券読み込み処理、などがあり、それらのシステム一つ一つにユーザー名やパスワードの管理も加わってまいります。

このシステムを構築された方々は甚大な労力を費やされたことと予想しますが、私どももこうした

IT環境に慣れるために、別次元の体力・精神力を要し、また、様々な会議や勉強会も突如として、オンライン形式に移行したため、ズームについても最低限の知識を身につける必要性に迫られました。

一方、感染対策やITに振り回されている間も、医療・医学の進歩は決して止まることはなく、新薬がどんどん開発され、治療のガイドラインも刷新されました。ふと気付けば、様々な分野で新型コロナ感染拡大以前と治療体系が変わってしまっているのです。

あまりにも急激な変革が及んだ医療の中で立ち止まって考えてみると、感染拡大が終息しつつある今、自分自身何を再出発の目標にして日々の診療に取り組むべきか、ただただ戸惑うばかりです。これは、医療だけでなく、音楽、イベント、旅行業界、世界各国の政治の世界でも同じでしょう。それでも、次の時代に向けて取り残されないよう、どの業界も未来を

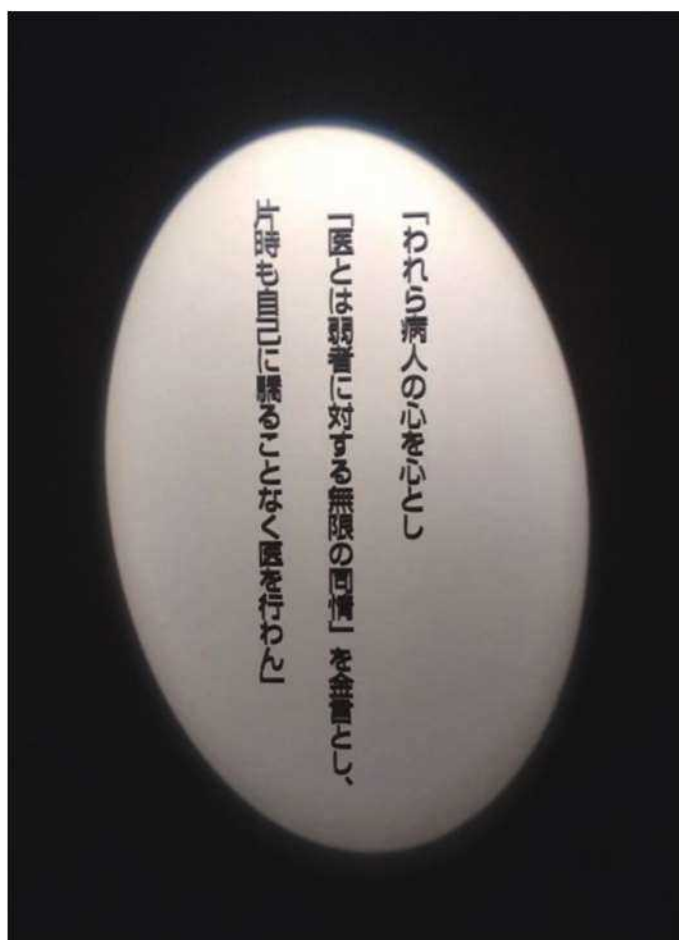
見つめて先に進まなければなりません。

しかし、健康を維持し、心穏やかに過ごす日々を願う気持ちは、いつの世も変わらぬ心の原点であります。まさに、「我ら弱き人々への無限の同情心持て、片時も自己に驕ることなく医を行わん」の遂行です。

地域医療の現場でも、ITを駆使すると共に、きちんと現場に足を運び、対面でお話をして細かな観察をするという、「医療が守るべき心の原点」に戻って真摯に医療に向き合いたい、感染拡大が落ち着いた今こそ、初心に戻るべき時と感じております。

令和4年からは、新型コロナワクチン3回目接種の開始について報道され始めました。皆様におかれましては、引き続き医療へのお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

令和3年11月吉日



獨創一理記念館の展示



文部科学大臣の 本学ご視察

学校法人藤田学園
理事長

星長 清隆

藤田学園同窓会の皆様、お元気で過ごしてでしょうか。私は2021年10月2日より2期目の理事長を拝命致しました。藤田学園の更なる発展の為に日々気を引き締めて理事長室で執務に励んでいます。

昨年春より猛威を振った新型コロナウイルス(COVID-19)感染症は、2021年10月に入り急速に収束して参りました。大変嬉しいことであり、その理由には、全国民の3分の2以上が2回のワクチン接種を終えたことや国民が感染対策を徹底出来ていることなどが挙げられています。また、ウイルス自体に突然変異が起り弱体化しているのではないかと云う人もありますが、その見解は疑わしいと思っております。一方、多くの感染症学者は、これから寒くなる

と必ず第6波が来るので、警戒態勢を緩めるべきではないとも言及しております。ただ、確かなのは感染あるいはワクチン接種によって国民の3分の2以上はCOVID-19ウイルスに対する免疫を大なり小なり獲得しており、よほどの変異株が出現しない限り、感染しても重症化する危険は低いと考えられます。

本学は2020年2月にCOVID-19に感染したダイヤモンドプリセス号の乗客・乗員を開院前の岡崎医療センターへ受け入れました。その後は本院やばんだね病院、岡崎医療センターでの感染患者治療(入院総数約1,700名^{※1})、アビガンの全国臨床治験、全学を挙げてのPCR検査(総数約3万件^{※1})、大学初のワクチン接種(総数33万人超^{※1})など、国難に対処することが大学の務めと考え、精力的に対応して参りました。この背景には、協力して下さった職員の計り知れない献身的な働きがあり、私は大いに感謝するとともに、これらの仲間を誇りに思っております。まさしくAll Fujitaの底力が発揮されたものであり、故藤田啓介総長の教えの賜物であると確信しております。

そして、これら数々の職員の奮闘ぶりが高く評価された結果が、2021年9月30日の萩生田光一文部科学大臣の本学ご視察に結び付いたのだと拝察いたします。実は



コロナワクチン接種会場

大臣関係者から本学を視察したいとの一報が私の携帯電話に入ったのはその6日前の金曜日の夜で、私は急いで学長や各学部長に連絡し、大臣視察の対応を要請いたしました。以前に萩生田大臣より、在職中に一度は藤田学園を視察したいと伺っておりましたが、まさか菅首相の退任直前で、萩生田大臣の任期もあと数日と分かっていた段階で、ご来藤が実現するとは予想だにしておりませんでした。ご視察頂いたのは、大規模新型コロナウイルスワクチン接種会場、自動PCR検査ロボットシステム、ロボット手術トレーニング施設、国際再生医療センターなどで、大臣は強い関心を示され、本学の一連のコロナ対策への貢献と職員の献身的な働き振りに対し、大いに評価を賜りました。

現職大臣の視察は学園始まって以来のことですが、多くの職員の日頃の努力が認められ、私にとって大変嬉しい一日でした。

※1：2021年10月末現在



萩生田文部科学大臣視察



萩生田文部科学大臣からの感謝状



藤田医科大学 学長就任ご挨拶

藤田医科大学
学長

湯澤 由紀夫

同窓会の皆様には日頃より藤田医科大学に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2021年7月1日に藤田医科大学 学長を拝命しました。

大学開学53年目となる今年6月には、日本初のホスト大学として「THE Asia Universities Summit 2021」をオンラインにて開催し、29カ国600名以上のアジアを主とした大学の皆様にご参加いただき、盛会のうちに幕を閉じることができました。今年のサミットは、アジア大学サミットの中でも最大の参加者数を記録するなど、国際的にも注目を集めたイベントとなりました。

来年の「THE Asia Universities Summit 2022」についても2022年5月31日～6月2日に、本学がホスト大学として現地開催することが決定いたしました。来年のテーマは「Facing the future, creating academic talent」とし、ノーベル生理学・医学賞受賞 大隅良典先生、ノーベル物理学賞受賞 天野浩先生をはじめとする多くの著名な方々を世界各国からお招きし、貴重なご講演を賜ります。また、市民公開講座やシーズ・ニーズ発表会、藤田学園医学会、総医研研究成果発表会、学園祭も同時期に開催する予定となっております。ぜひ来年は、藤田医科大学でさらにパワーアップしたサミットをライブで楽しんでもいただき、同窓会の皆様と一緒に藤田学園を盛り上げて参りたいと思っております。

ます。知の拠点としての本大学の先端性をあらためて世界に向けてアピールする良い機会であり、星長理事長のもとさらなる発展に向け、学長としての責務を果たしていきたいと考えています。

研究分野では、精神・神経を対象として世界トップクラスの研究を目指す精神・神経病態解明センター、がんゲノム研究を進めるがん医療研究センター、国際再生医療センターに続き、2021年10月には新たに感染症研究センターが開設され、今後もますます藤田医科大学の研究体制は充実していきます。

大学病院群では、それぞれ特徴ある医療を展開しており、中心となる大学病院では12月にJCI再認証を目指し、病院理念に基づく国際水準の医療の推進に向け病院全体での取り組みが進んでいます。また、先端ロボット・内視鏡手術学講座の開設により外科横断的にロボット手術を推進しており、国産初の「hinotori」の導入を機に遠隔ロボット手術の実現を目指した研究も始まっています。基幹型災害拠点病院に加え、高度救急救命センターの認定を受けた現在、広域災害対策は、学園全体で取り組むべき重要なテーマとなりました。

新型コロナウイルス感染症重症患者受入れ総数は、愛知県第一位、私立医科大学協会加盟大学病院中全国7位です。岡崎医療センターでのクルーズ船の陽性者の受け入れから始まった新型コロナウイルス感染症対策は、アビガン及び新規ワクチンの臨床研究から豊明・岡崎2拠点でのワクチン大規模集団接種へと繋がり、国内初の川崎重工工業株式会社製の自動PCR検査ロボットや感染対策機器開発に向け、企業との共同開発も進んでいます。

デジタル革命の重要性がますます増してきている中で起こった新型コロナウイルス感染症は、VR・遠隔システムを用いた講義、創薬・ワクチン開発に代表されるAIを駆使した研究手法、遠隔診療による国内外を含めた診療圏・診療対象の

拡大など、一挙に教育・研究・臨床のありようを大きく変えてきました。

コロナ感染対策の中で示してきた大学病院の力(臨床・研究実績)に対して、多くの企業が注目する状況となりました。私たちの独創力をもって、このチャンスを生かしたいと考えております。

同窓会の皆様におかれましては、何卒引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国内大学の 順位	ランキング の順位	大学名	
1	35	東京大学	国立
2	61	京都大学	国立
3	201-250	東北大学	国立
4	301-350	大阪大学	国立
5	351-400	東京工業大学	国立
6	401-500	名古屋大学	国立
7	501-600	産業医科大学	私立
8	601-700	横浜市立大学	公立
9	701-800	九州大学	国立
10	801-900	京大	国立
11	901-1000	北海道大学	国立
12	1001-1100	東京医科大学	国立
13	1101-1200	関西医科大学	私立
14	1201-1300	慶応義塾大学	私立
15	1301-1400	神戸大学	国立
16	1401-1500	日本医科大学	私立
17	1501-1600	会津大学	公立
18	1601-1700	東京都立大学	公立
19	1701-1800	藤田医科大学	私立
20	1801-1900	広島大学	国立
21	1901-2000	東京慈恵会医科大学	私立
22	2001-2100	順天堂大学	私立
23	2101-2200	近畿大学	私立
24	2201-2300	久留米大学	私立
25	2301-2400	新潟大学	国立
26	2401-2500	帝京大学	私立
27	2501-2600	早稲田大学	私立

※「THE World University Rankings 2022」をもとに作成



【THE Asia University Summit 2022】

ポスター

会期：2022年5月31～6月2日

会場：藤田医科大学



藤田医科大学病院
病院長

白木 良一

就任して 藤田医科大学病院長に

2021年9月1日より藤田医科大学病院長を拝命しました白木良一です。

同窓会の皆様には日頃より藤田医科大学病院に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は当院に奉職して約30年になります。その間、泌尿器科の医師として多くの手術を手掛け、たくさんの患者さんと接してきましたが、いつも「チーム」の力に助けて頂きました。技術を有する医師であっても一人では患者さんを救えません。様々な分野のプロフェッショナルが関わるチーム力で医療を行う、そこにこそ本当の強みがあると思います。当院は特にこの「チーム力」が高いと思います。クルーズ船乗客乗員の受け入れに始まった一連のコロナ対応はまさに「チームFUJITA」というべき力の結集でした。その後のロボットによる自動PCR検査システム、ワクチンの大規模接種対応では開発力とスピード力も発揮されました。当院では藤田啓介総長が掲げた「我ら、弱き人々への無限の同情心もて、片時も自己に驕ることなく医を行わん」という病院理念のもと、患者さん中心の医療を実践していますが、患者さんの満足度を高めると同時に、教職員一人一人が誇りを持てる、働きがいのある職場づくりも進めたいと思います。

当院は国内では非常に早期である2008年より手術支援ロボット「ダビンチ」を活用する手術を導

入し、今では総合消化器外科、産婦人科などあらゆる診療科で実績をあげています。これに加え、国産初の手術支援ロボット「hinotori」の臨床例も開始し、約30km離れたロボットを医師が操作するという遠隔手術の模擬実験にも成功しました。

特定機能病院として高度医療を推進する一方で、地域医療の砦となる基幹病院としての使命も担っています。2021年4月には愛知県より高度救命救急センターに指定され、3次救急を担う高度な救急医療を提供できる体制が整いました。大地震など有事の際には、基幹災害拠点病院として医療救護活動の要となる役割を果たすべく、災害に強い病院づくりにも取り組んでいます。

また、がんゲノム医療連携病院として、ゲノム診断フローや検査体制を整備し、がん遺伝子パネル検査の診療や臨床研究を開始しました。患者さんに対し最適な治療

方法を選択・提供するため、診療科間・臓器疾患のバリアを取り除いた診療クラスターの構築を進めています。

2021年10月には、スマートホスピタル構想実現に向けた取り組みとして、検体や医薬品など院内物資を搬送するサービスロボットの実証実験を開始しました。

12月には、医療の質と患者安全に関する国際基準の「JCIアカデミック・メディカルセンター病院プログラム」の認証更新を予定しています。

これからも「チームFUJITA」一丸となり、安全で質が高く、大学病院として世界水準の先進的な医療を提供することで、地域社会、および医学・医療の進歩に貢献したいと考えています。

同窓会の皆様におかれましては、何卒引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「hinotori」1例目オペの様子



看護専門学校の 閉校に向けて

藤田医科大学
看護専門学校
学校長

小野 雄一郎

藤田学園同窓会の皆様には日頃より藤田医科大学看護専門学校へのご支援をいただき有難うございます。本校は2022年(令和4年)3月末に閉校の運びとなっておりますので、校長としてのご挨拶を申し上げます。

藤田医科大学看護専門学校は藤田学園創立の1964年9月に設置認可された南愛知准看護学校を起源としております。その後、1983年に南愛知高等看護学院との統合による各種学校から専修学校への格上げに際して名称を藤田学園看護専門学校に変更し、2000年には定時制2年課程であった看護科を現在の全日制3年課程に変更しています。

本校の60年近い歴史の6割を占める1999年入学生までの定時制の時代、働きながら学ぶ看護科2年課程と准看護科の学生諸君に

対する歴任教職員の方々の日々の献身的なご尽力により学園建学の理念や医療の理念に基づく教育の伝統が形成されました。そして、2000年以降の全日制3年課程の時代には、競合する教育機関の増加や受験生の大学進学志向が進むなか、本校では教職員の熱意のこもった指導や学生の主体性を重視した企画など、良き人材育成をめざす教育が積極的に行われてまいりました。加えて、本学園の各教育病院看護部をはじめ、学園内外の諸施設からの実習への手厚いご支援や、大学各学部等の多数の教職員の方々の講義へのご協力なども得て、大変充実した環境の中で本校の学生諸君は学ぶことができました。

本校の実績として、閉校に至るまでの卒業生総数は3784名(予定)に達します。また、看護師(婦)国家試験における通算合格率は、看護科2年課程1~32回生96.5%、3年課程1~19回生98.2%(同時期の全国平均合格率は各94.4%、90.1%)、愛知県准看護婦試験での本批准看護科1~34回生の合格率99.7%(同時期の県平均合格率96.5%)と、いずれも大変優れた成績を達成しています。卒業生の多くは学園の各教育病院に就職し(3年課程卒業生は83.7%の見込み)、学園の医療の発展を支える重要な役割を果たしてまいりました。また、全国各地の医療・福祉の施設、大学・学校、行政など、多彩な職



記念誌表紙(独創一理)

場においても卒業生は活躍しています。

本校は閉校に向けて2021年8月末に「三年課程(全日制)二十周年・閉校記念誌」を発行しました。また、2022年3月6日(日)午前10時~11時には閉校記念式典を学園のフジタホール2000において開催いたします。

本校は閉校いたしますが、様々な試練を乗り越えた学生時代の貴重な体験や本校教職員の熱意は各卒業生の心の糧、灯として、これからも永く輝き続けるに違いないと私は思います。

これまで本校に多大なご支援を賜りました藤田学園同窓会の皆様に心より感謝申し上げます。どうも有難うございました。



20回生 戴帽式

新型コロナウイルスワクチン EXG-5003の第I/Ⅱ相試験を実施

感染症科 土井洋平教授を研究開発代表者とする本学研究グループは、8月31日、AMED(日本医療研究開発機構)の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するワクチン開発」課題に採択され、米国エリクサジェン・セラピューティックス社が開発中のRNAワクチンEXG-5003の第I/Ⅱ相試験を行うこととなりました。EXG-5003の臨床試験としては世界初となります。2021年春までに被験者に対するワクチン投与を開始し、同年度中の研究完了、結果報告をめざします。

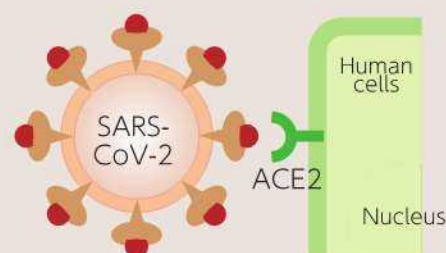


湯澤病院長、岩田学部長、土井教授が愛知県公館を訪し、大村知事にワクチンの研究に取り組むことを報告

採択を受け、9月1日に第1教育病院 湯澤由紀夫病院長、岩田仲生医学部長、土井教授の3名が大村秀章愛知県知事を表敬訪問し、研究開始を報告。知事より「県としても支援します」とのお言葉をいただきました。

■ RNAワクチンEXG-5003

EXG-5003は、米国メリーランド州ボルチモアに本社を置くバイオテクノロジー企業、エリクサジェン・セラピューティックス社が開発中の新しい皮内投与型ワクチンで、温度に依存した自己複製能力を兼ね備えているのが特徴です。ワクチンにより、ウイルスがヒトの細胞に結合するのに使うスパイク蛋白の一部に対する抗体ができ、感染を予防することが期待されています。同社は現在、このEXG-5003の前臨床試験を進めるとともに、本臨床試験に用いるためのワクチン製剤の製造準備を行っています。



■ 第I/Ⅱ相臨床試験

本研究は、EXG-5003の二重盲検プラセボ対照第I/Ⅱ相臨床試験です。被験者は健康な成人約60名を想定しています。一般的に第I相試験は少人数の被験者で主に安全性の確認と用量を設定する目的で行われます。第Ⅱ相試験は、第I相試験より多い人数で、さらに安全性を確認するとともに、免疫原性を示すかどうかを確認するものです。有望な結果が出れば、さらに大人数の第Ⅲ相試験(企業治験)に進みます。

第Ⅲ相試験は、ワクチンが確かに新型コロナウイルス感染症に対する予防効果を示すこと、安全性が引き続き担保されていることを確認するので、第Ⅲ相試験をクリアできると医薬品医療機器総合機構の適応承認が得られて一般的な患者さんへの使用が可能となります。

■ 安全性と免疫原性の確立に向けて

ワクチン投与は安全性に最大限配慮し、少量より開始。被験者から定期的に採血して安全性が確認され次第、次の用量に進みます。研究の主な目的は、このワクチンが安全であること、そして新型コロナウイルスに対する免疫反応が起きることを血液検査で確認することの二つです。本試験により、EXG-5003の安全性と免疫原性を確立し、第Ⅲ相臨床試験につなげることをめざします。

■ エリクサジェン・セラピューティックス社(Elixirgen Therapeutics, Inc.)

米国メリーランド州ボルチモアに本社を置くバイオテクノロジー企業。EXG-5003の最初の治験を本学で開始することを契機として、ワクチンの日本での優先的な開発と供給の準備を進めています。

各拠点で防災訓練を実施

豊明校地および第3・第4教育病院では南海トラフ地震を想定した防災訓練が10月に相次いで行われました。今年度はCOVID-19の感染防止のため大規模な避難行動は行わず、情報伝達・機器操作を主体に、災害対策マニュアルおよびBCP※に基づいた対応ができるかを確認しました。

※BCP (Business Continuity Plan) とは「事業継続計画」の意味で、災害などで危機的状況に陥った際にも損害を最小限にとどめ、早期に復旧を図るため、あらかじめ事業継続の方法や手段を明確に記した計画のことを指します。

■ 豊明校地 10月3日

地震発生の一報を受け、法人本部、医学部、医療科学部・保健衛生学部、看護専門学校、研究支援推進本部、第1教育病院では、直ちに災害対策本部を設置。各本部で収集した被災状況・安否等の情報は、防災無線により防災センター（施設部）に集約され、緊急度別に分類された後、理事会室に設けられた防災対策総本部に報告されました。今回は昨年の訓練で不慣れを指摘された防災無線の交信方法や情報の整理に重点的に取り組みました。

大学では、全学年を対象とするエマージェンシーコールの訓練と1年生を対象とする防災活動のオンライン授業を行いました。また基幹災害拠点病院に指定されている第1教育病院では震度6弱で一部病院機能が麻痺した状況を想定し、対策本部での正確な被害状況の把握をめざした訓練を行いました。

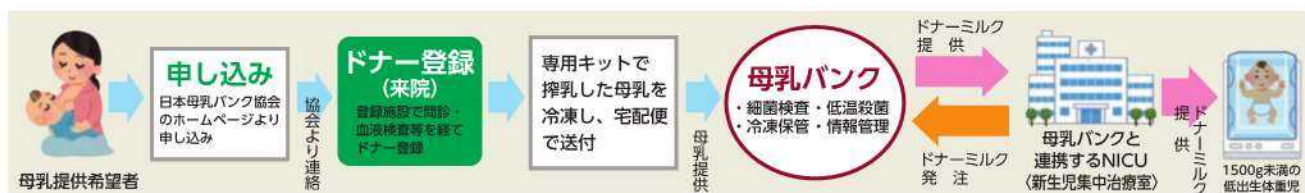


中部初！ 第1教育病院が母乳バンクの ドナー登録施設に認定

第1教育病院は9月30日、愛知県内の他1施設とともに中部地方で初めて日本母乳バンク協会（東京都）のドナー登録施設に認定されました。

母乳の提供者（ドナー）になるには、同協会が認定するドナー登録施設で問診や血液検査等を受ける必要があります。これまで登録施設は北海道1、関東4、近畿2の計7カ所のみで、希望者は登録のために遠方まで足を運ぶ必要がありました。今回、当院が登録施設となったことで近県からのドナー登録やドナー数の増加が期待されています。

10月9日には、第1号目となる女性が来院。ドナーミルクの取り組みを中心となって進めている小児科学の宮田昌史准教授が血液検査の結果などを確認し、ドナー登録を行いました。この様子が新聞・テレビで報じられたことから、その後は希望者も増え、10月26日時点で7名が登録を完了して6名が調整中です。宮田准教授は、「地域毎に母乳バンクを作ることには難しいかもしれませんが、どこの病院に入院している赤ちゃんにも最も望ましい医療が受けられるように、多くの人に理解を広めつつ協力していくことが必要と考えています」と話しています。



中部国際空港 PCR検査センターが開所

藤田学園は、愛知県および中部国際空港と協力し11月30日、本学の中部国際空港診療所内に「中部国際空港PCR検査センター」を開所しました。高速検査機器を配備し、約3時間で検体採取から陰性証明書まで一貫して行える施設として、国際線利用者の利便性向上およびビジネス需要に対応した人の往来に寄与していくことを目的としています。

大村知事らが出席し、開所式と内覧会が開かれました



検査機器の説明を受ける大村知事

11月28日には、星長清隆理事長、大村秀章愛知県知事、犬塚力中部国際空港社長らが出席し、開所式典が行われました。大村知事は「愛知県、学校法人藤田学園、中部国際空港の連携で、安全で迅速に検査可能なPCR検査センターを開設することができた」と協力に対する謝辞を述べられました。

星長理事長は「このような大役を任せていただき誇りに思う。大学の使命は、教育、研究、社会貢献だと考えており、学生にも患者さんのために貢献するよう指導してきた。今後も県民・国民の皆さんのために職員一同尽力していきたい」とあいさつしました。また犬塚力中部国際空港社長は「この開設を機に、中部国際空港におけるビジネス渡航の増加、国際線の本格的な復活を大いに期待している。引き続き、新型コロナウイルス

感染防止対策にしっかりと取り組んでいきたい」と今後の抱負を述べました。

式典後には報道関係者や学内関係者に向けた内覧会が開かれ、テレビや新聞など約11社が取材するなど、社会的な関心の高さがうかがわれました。

藤田医科大学中部国際空港診療所 中部国際空港PCR検査センター

- 場 所:中部国際空港第1ターミナル2階北側
(本学中部国際空港診療所内)
- 運営時間:9:00~17:00(事前予約制)
- 運 営 日:原則、年中無休 ■料金:38,500円
- 検体採取:鼻咽頭ぬぐい液
- 採取スペース:2ブース
- 検 査 法:核酸増幅検査(RT-PCR検査)
- 検査機器:全自動遺伝子検査システム
エリートインジニアス(PSS社)を2台導入
- 測定時間:150分。1台あたり同時に12検体まで測定可能
- 1日あたり最大約100件の検査に対応できます



検体採取の様子



開所式であいさつする星長理事長

藤田学園の4カ所で渡航者向けPCR検査が可能に

今回の中部国際空港 PCR検査センターの開所に伴い、10月から先行運用している第1・第2・第4教育病院を含む藤田学園の計4施設で渡航者向けPCR検査が可能となります。いずれも空港第1ターミナル3階の案内センターで陰性証明書を受け取ることができ、大幅な利便性の向上が見込まれます。

2020年
12月

七栗記念病院と久居農林高校が オンラインクリスマス会で交流

七栗記念病院では12月23日、地元の久居農林高校との合同企画による初めてのクリスマス会が開かれ、患者さんや職員たちが高校生とオンラインで交流を深めました。

この会では、放送部のナレーション・朗読を交え、吹奏楽部がクリスマスメドレーやアニメソング、時代劇の主題歌などさまざまな楽曲を演奏。病院の記念ホールと病棟にモニターを設置し、患者さんと職員合わせて450名がマスク着用とソーシャルディスタンスを守りつつ、一緒に音楽を楽しみました。

時代劇の曲や演歌のコーナーでは、手拍子したり口ずさんだりする人も。記念ホールで視聴した女性の患者さんは、「あたたかい演奏をありがとうございました。退院したら主人に自慢します」と涙ぐみ、感激した様子でした。他の患者さんからも「アンコール!アンコール!」の声が上がるなど大変盛り上がった会となりました。最後に、園田茂病院長が「心のこもった朗読と演奏が距離を超えて伝わってきました。こんな時期でもお互いに社会参加ができ、未来への希望になったと思います」と高校生たちへ感謝の言葉を述べました。



藤田医科大学七栗記念病院

藤田啓介総長の肖像画除幕式を挙行

藤田啓介総長の没後25周年に際し、創設者の功績を永遠に銘記するため、大学2号館1階正面（獨創一理記念館横）に肖像画が設置されました。肖像画は縦1,700mm、横1,365mmの油彩画で、日本芸術院会員の藤森兼明画伯に制作いただきました。

1月12日には藤森画伯をお迎えし、学園幹部および同窓会会長の列席のもと、除幕式を執り行いました。式では星長理事長が総長の歩みを紹介し、「今や藤田の知名度は関東でも高くなっている。それも総長が学園を創設したおかげであり、今後とも遺志を受け継ぎ ALL FUJITAで学園を発展させていきたい」とあいさつしました。その後、星長理事長と藤森画伯が除幕を行いお披露目されました。肖像画は今後とも同所に飾られ、学園の発展を見守り続けます。



藤田啓介総長の肖像画を囲んで。左から藤田学園同窓会・松山裕宇会長、湯澤由紀夫病院長、才藤栄一学長、星長清隆理事長、肖像画制作者の西洋画家・藤森兼明画伯、山路正雄弁護士、日本画家・木村光宏画伯

■ 藤森兼明画伯のプロフィール

日本芸術院会員 日展顧問 光風会理事長
金沢美術工芸大学名誉客員教授

略 歴（抜粋）

2016年 紺綬褒章
2009年 中日文化賞 愛知教育文化功労者
2008年 東海テレビ文化賞 日本芸術院賞
2004年 第36回 日展内閣総理大臣賞
1988年 愛知県芸術文化選奨文化賞

作品収蔵

愛知県美術館、富山県庁、日本芸術院、金沢美術工芸大学、東海テレビ放送、中部日本放送、中部電力株式会社、中日新聞社 ほか



総長祈念石碑（七果）

1日最大4000件の検査体制へ 国内初！ロボットによる 自動PCR検査システムを設置



「藤田医科大学産学連携推進センター受託解析研究ユニット(PCR検査センター)」や、学園の病院群などでの受付検査等と合わせ、国内の施設では最多レベルとなる1日最大4,000件の検査が可能となります。

本学は、医療従事者の感染リスクと負担の軽減を図るため、川崎重工業株式会社と協力し、同社が開発した国内初のロボットによる自動PCR検査システムを1月31日、第1教育病院の正面玄関前に設置しました。システムは幅2.5m、長さ12.2mのコンテナに収められており、「川崎重工業株式会社 藤田医科大学 PCR検査センター」の名称で、2月下旬より1日最大2,500件の運用を開始。本学が検体採取と結果判定を行い、同社がシステム運用を担いながら、共同で実証実験を進めています。センターの設置により、昨年12月に大学1号館3階に新設した

■ センター内におけるPCR検査の工程

システムは13台のロボットで構成され、採取した検体を受け入れ口に投入するだけで解析まで全てロボットが行います。検査時間は約80分と一般的な3～4時間から大幅に短縮。さらに、無人化、省人化により医療従事者の負担軽減を図ることができます。



開栓分注工程
約10分



核酸抽出工程
約30分



試薬調整工程



PCR測定工程

← 約40分 →

検体採取後約80分

■ 藤田学園内のPCR検査体制

- ① **藤田医科大学産学連携推進センター**
受託解析研究ユニット(PCR検査センター)
・愛知県より受託している三河地区保健所(豊川、新城、西尾、衣浦東部)で採取の検体に対応
- ② **川崎重工業株式会社**
藤田医科大学PCR検査センター
・第1、第2、第4教育病院での渡航者PCR検査および入院前の予約をいただいたスクリーニング検査に対応
- ③ **愛知県内の3教育病院(第1、第2、第4教育病院)**
・院内は至急の検査のみ対応
- ④ **藤田医科大学中部国際空港診療所**
中部国際空港PCR検査センター
・中部国際空港診療所で採取した検体

■ 内覧会が行われました

2月4日に行われた内覧会では、テレビ局や新聞社など計13社が取材し、社会的な関心の高さがうかがえました。湯澤由紀夫病院長は「高性能のロボットを駆使することで、医療者の負担や感染リスクを減らすことができる」と期待を寄せました。



2020年度

卒業証書・学位記授与式



3月14日に藤田医科大学卒業証書・学位記授与式ならびに大学院学位記授与式、藤田医科大学看護専門学校卒業証書授与式が執り行われ、あわせて740名の学生が新たな一歩を踏み出しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業生のみがフジタホール2000に入場し、保護者はライブ配信を視聴する形で実施。式では卒業生代表に卒業証書・学位記が手渡され、続いて理事長賞、学長・校長賞、克己復禮賞が授与されました。

才藤栄一学長は「皆さんの人生がもっと面白く、もっと人を助けられるよう心から願っています」と言葉を贈り、卒業生代表4名が学生生活での学びや感謝、今後の抱負を述べました。



2020年度 卒業生および修了生的人数

医学部	
医学科	104名
医療科学部	
臨床検査学科	124名
放射線学科	61名
臨床工学科	46名
医療経営情報学科	43名
保健衛生学部	
看護学科	139名
リハビリテーション学科	104名
(理学療法専攻56名・作業療法専攻48名)	
看護専門学校	
看護科	37名
大学院医学研究科	
博士課程	25名
論文提出による博士	3名
大学院保健学研究科	
博士後期課程	8名
修士課程	46名

2020年度 国家試験結果

学部・学校	学科	資格名	区分	受験者	合格者	合格率%	全国平均
医学部	医学科	医師(第115回)	新卒	104名	102名	98.1%	94.4%
			既卒	7名	5名	71.4%	54.5%
			計	111名	107名	96.4%	91.4%
医療科学部	臨床検査学科	臨床検査技師	(第67回)	124名	124名	100.0%	80.2%
	放射線学科	診療放射線技師	(第73回)	61名	55名	90.2%	74.0%
	臨床工学科	臨床工学技士	(第34回)	46名	46名	100.0%	84.2%
	医療経営情報学科	診療情報管理士認定試験	(第14回)	37名	36名	97.3%	62.4%
保健衛生学部	看護学科	看護師	(第110回)	139名	139名	100.0%	90.4%
		保健師	(第107回)	18名	18名	100.0%	94.3%
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	理学療法士	(第56回)	56名	56名	100.0%	79.0%
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	作業療法士	(第56回)	48名	48名	100.0%	81.3%
看護専門学校	看護科	看護師	(第110回)	37名	36名	97.3%	90.4%

(注)医療科学部・保健衛生学部と看護専門学校の受験者数は、既卒者を含みません。

(注2)診療情報管理士認定試験のデータは、3年次の実績です。

2021年度 入学式

2021年度の新生729名を迎え、4月11日に入学式が執り行われました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生のみがフジタホール2000に入場し、保護者はライブ配信を視聴する形で実施しました。

各学部長と新入生が対面し、代表学生による宣誓・署名が行われました。星長清隆理事長は「常に何が必要かを分析し、ALL Fujitaで日本一の医療系総合大学を皆さんと一緒にめざしていきたい」、才藤栄一学長は「専門的な技術や知識は日々変化します。好奇心とエネルギーを使って新しい学びに没頭してください」と激励の言葉を贈りました。



宣誓

2021年度 入学生数

医 学 部	120名	大 学 院	110名
医 療 科 学 部	239名	医 学 研 究 科	
医 療 検 査 学 科	142名	博 士 課 程	41名
放 射 線 学 科	97名	修 士 課 程	3名
保 健 衛 生 学 部	260名	保 健 学 研 究 科	
看 護 学 科	140名	博 士 後 期 課 程	10名
リハビリテーション学科	120名	修 士 課 程	56名
(理学療法専攻:70名 作業療法専攻:50名)			

新型コロナウイルスワクチンの 接種が始まりました

新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向け先行接種が3月8日から第1・4教育病院、12日には第2教育病院で開始されました。

第1教育病院の初日は、湯澤由紀夫病院長、眞野恵好統括看護部長、白木良一統括副院長ら病院幹部が先陣をきって1回目の接種を受け、現場の医師・看護師ら計115名がそれに続きました。13社のメディアが接種の取り組みを取材するなど、注目度の高さがうかがわれました。ワクチンプロジェクトを主導している岩田充永副院長は「院内で感染を拡げないための強い武器が手にできた」とコメントしました。

● 接種計画

第1教育病院→3月27日までに約2,100名の1回目接種を完了

第2教育病院→3月19日までに500名の1回目接種を完了

第3教育病院→4月26日から1回目接種を開始予定

第4教育病院→3月15日までに575名の1回目接種を完了

● 今後の予定

3月29日～4月23日 第1回ワクチン接種対象者の2回目接種を実施

4月上旬 新採用者・第1回希望調査で「未定」「いいえ」と回答した方を対象に第2回希望調査を実施

4月19日～ 第1・2回希望調査での希望者への接種開始

患者さん・同僚・医療現場を守るためにも集団免疫効果を確立しましょう!



ばんだね病院 新棟の建設工事が始まりました!

ばんだね病院は、地域医療の中核を担う都市型地域医療支援病院として、住民の皆さんへさらなる質の高い医療の提供と患者さんの利便性向上を目的に新A棟建設の準備を進めています。4月より第1駐車場を閉鎖しての仮設棟建設工事(8月完成予定)が始まっており、新棟完成は2023年7月を予定しています。

教職員の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



上空からの仮設棟建設工事現場(5月撮影)

新A棟整備のポイント

・救急外来・各科外来診察室整備

重症患者の受け入れを強化し、断らない救急医療をめざし地域の救急医療高度化に貢献します

・手術室拡張

2室増設し、全7室に拡張。手術室の有効利用に向けて手術室運営体制を強化し、2024年度には4,000件/年をめざします

・透析センター新設

地域の透析医療のニーズに応えるべく、ベッド数21床の透析センターを設置し、高度な医療技術と併せて充実した地域医療を提供していきます

年	2021年度												2022年度												2023年度												2024年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
工事スケジュール	全体工期36.5ヵ月																																															
	仮設棟建設 5.0ヵ月					解体工事 5.0ヵ月					新棟建設工事 18.0ヵ月												既存内部改修工事 6.5ヵ月						外構工事 2.0ヵ月																			

近隣自治体住民への 新型コロナウイルスワクチン 集団接種が始まりました



本学は、愛知県からの要請を受け、5月24日よりアセンブリホールにて住民を対象とした新型コロナウイルスワクチンの集団接種を開始しました。初日は予約した高齢者のほか、多くのメディアが訪れ、連日報道されるなど注目の高さが伺われました。

県内の大規模接種会場は、本学と県営名古屋空港の2カ所に設置されており、本学での接種は早朝や夜間も受け付け、1日あたり最大1,000人程度を予定しています。豊明市のみならず名古屋市、日進市、大府市、刈谷市、東郷町の住民を対象に、自治体の枠を越えて接種を進めていきます。



皆様のご協力のおかげで、初日も大きなトラブルなく運営が行えました。1日も早く、1人でも多くの方にワクチン接種を行い、COVID-19の感染収束に向けて教職員一丸となってワクチン接種運営を進めていきましょう。日々新型コロナ対応にあたる教職員の皆さんにはご負担をおかけしますが、より一層のご協力をお願いいたします。

藤田医科大学病院長
湯澤 由紀夫

THE Asia Universities Summit 2021 開催

本学がホスト校を務める国際会議「THE Asia Universities Summit 2021」が、COVID-19の影響による1年の延期を経て6月1～3日の3日間、オンラインで開催されました。日本初開催となる本サミットでは、「Crossing boundaries, unlocking creativity(境界を越え、創造性を引き出す)」をテーマに、基調講演、パネルディスカッション等を通じて大学教育の在り方やSDGs、社会貢献などを議論。世界29の国と地域から600名超が参加し、本学の国際的なプレゼンスをさらに高める契機となりました。

才藤学長が開会挨拶

オープニングでは才藤栄一学長が、「オンラインによって、海外の研究者や学生との交流が容易になった。サミットを機に新しいイノベーションが生まれることを期待している」と挨拶。また、閉会の際には来年のサミットも本学が2年連続でホスト校を務めることを発表し、「本学で皆さんと直接お会いできることを楽しみにしている」と述べました。



才藤栄一学長

学術界・財界のリーダー3名による基調講演

基調講演には、シンガポール大学のTan Eng Chye学長、富士フイルムホールディングス株式会社の古森重隆代表取締役会長・CEO、2014年ノーベル物理学賞受賞の天野浩名古屋大学教授が登壇。天野教授は日本の科学技術力の低下を懸念し、「将来のイノベーションをリードする人材を輩出するためには、大学院生の教育システムの構築が重要だ」と主張しました。

国内外の大学学長がセッション

3日間を通じて、計8回のパネルディスカッションが行われ、延べ40名のゲストが意見を交わしました。

パネルディスカッション出席者

- ・松尾清一氏(名古屋大学総長)
- ・時任宣博氏(京都大学副学長)
- ・Se-Jung Oh氏(President, Seoul National University)
- ・Bin Yang氏(Vice-president and provost, Tsinghua University)
- ・Safwan M. Masri氏(Executive vice-president for Global Centers and Global Development, Columbia University)



他

松尾清一氏

サミット開催記念 市民公開講座を実施

「THE Asia Universities Summit 2021」の日本初開催を記念し5月30日、オンラインで市民公開講座が行われました。講座では、日本におけるワクチンと治療薬開発のトップランナーである大阪大学の松浦善治特任教授と、本学感染症科の土井洋平教授が登壇し、「新型コロナワクチンと治療薬開発の現状と将来」をテーマに最新情報を解説。YouTube Liveで無料配信され約800名が視聴しました。

THEアジア 大学ランキング2021 国内12位、私立2位

サミット2日目には、2021年度のアジア大学ランキングが発表され、日本の大学は6位の東京大学、10位の京都大学などに続き、国別では最多の116大学がランクイン。本学は全551大学中、109位(国内12位)にランキングされました。私立大学ではワールドランキング同様、産業医科大学に次いで2位となっています。

また、大学の取り組みを表彰する「THE Awards Asia 2021」の最終選考候補も発表され、「リーダーシップとマネジメント部門」において日本で唯一、本学が選出されました。受賞校は12月に発表される予定です。

THE Asia Universities Summit 2022 2年連続で本学開催を発表

2021年度に続き、2022年度のTHEアジア大学サミットについても本学にて開催することが決定いたしました。同一校での連続開催は初となります。次回はオンサイトの現地開催として世界各国からの来賓を招き、藤田医科大学構内で行う国際サミットとなる予定です。

THE Asia Universities Summit 2022 Facing the future, creating academic talent (仮)

日程: 2022年5月31日(火)～6月2日(木) 予定
会場: 藤田医科大学

豊明校地で 利便施設棟の建設が始まりました

大学病院旧1・2号棟跡地に2022年4月の完成に向け、利便施設棟の建設工事が始まりました。地下1階、地上3階建ての同棟は外来棟に隣接して建設されます。1フロアは約2,000㎡。大学病院の機能を補完する施設などが入る予定です。同棟と病院B棟、C棟、スタッフ館I、および大学1号館との間には連絡通路を設けます。また、外来棟前のロータリーと大学1・2号館のエリアを連結する車路（スロープ）も建設する計画です。

同棟とスタッフ館Iの隣接エリアには、人工地盤を活用した総面積約2,800㎡の芝生広場を設置。この緑化空間は、安らぎ感の演出とともに病院群と大学群の建物を融和させる役割を持ちます。学園祭やオープンキャンパスなどのイベントでの活用や、災害時のトリアージエリアを含む災害拠点としての運用も見越しています。



年	2019年度												2020年度												2021年度												2022年度								
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
工事スケジュール	病院1・2号棟 解体工事												利便棟建設・躯体・外装工事												内装工事												OPEN								



利便施設棟建設工事風景

新設センター紹介 パーキンソン病センター

藤田医科大学病院では、高齢化に伴い患者さんが急増しているパーキンソン病の診断・治療・研究を統合的に行う「パーキンソン病センター」を2020年11月1日に開設し、本大学病院が得意とする診療科・部門を越えた連携と最先端の医療機器を備えた総合力で、最新・最善の医療を提供しています。

神経難病に指定されているパーキンソン病は、動作の遅さや自律神経障害など初期症状が老化現象と類似しているため発症が見逃されやすく、また全身疾患のため診断・治療には高度な専門知識が欠かせません。当センターでは、パーキンソン病の受診窓口を一本化することで患者さんの利便性向上や早期発見につなげるとともに、地域の医療機関への情報提供や、国際機関と連携した治療法・創薬研究など幅広い取り組みを行っています。



センター長 渡辺宏久

センター長のあいさつ

当センターでは、最新で最善の医療の提供を通じて、患者さんの「今をよくすること」、そして3～5年先の「未来をよくすること」を目標に掲げています。

世界的にパーキンソン病の患者さんは急増しており、60歳以上では100人に1人といわれています。一方で、全身疾患のため治療には総合的な視点と専門的な知識が必要であり、それらを担える医療機関は未だ多くはありません。当センターは、この課題に対し大学病院としての機能を生かし集学的に治療や研究、情報提供、教育などを行うことで、患者さんのQOL向上および地域のパーキンソン病医療の発展に貢献していくことをめざします。

岡崎医療センター 新病院長ご挨拶



藤田医科大学 岡崎医療センター
病院長 鈴木 克侍

2021年8月1日より藤田医科大学岡崎医療センター病院長を拝命いたしました鈴木克侍です。大変名誉なことである一方、その責務の重さには身の引き締まる思いです。

岡崎医療センターは2020年4月7日に、藤田医科大学の第4教育病院として、岡崎市針崎町に新規開設されました。病床数は400床です。病院設立の目的は、岡崎・幸田地区の救急要請が年1万6千件ありますが、8千件は他地区に搬送されている状況を地元が憂い、全て地区内で引き受けられる病院を新たに作ることでした。藤田学園が地元の要請に賛同し、病院設立が決定しました。そして、「24時間365日救急搬送を全て受け入れる」ことが、地元の代表者ご臨席の地鎮祭で高らかに宣言されました。

「救急医療の充実」に加えて、「がん診療の充実」を実現することが病院設立の二大目標となりました。24時間365日救急搬送を全て受け入れることで、この地域の救急医療に貢献します。

がん診療では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」や「hinotori」あるいはPET-CTを活用した体に負担が少ない高度ながん診療を実践し、地域の方々に頼っていただける病院をめざします。藤田医科大学病院群内で専門教育を受け、臨床経験を積んだ優秀な医療スタッフが、日夜患者様に寄り添いながら高度でやさしい医療を展開します。

電子カルテの診療記録・画像および検査データを大学病院群内で共有して病院間カンファレンスを実施するなど、「ALL FUJITA」で地域により良い医療を届けます。本院と岡崎医療センターとの間で5G専用回線を通じた手術支援ロボット「hinotori」の遠隔操作による手術治療や、AIを活用した手術室・病院管理などの、企業との共同研究を通じた医療技術の進歩を地域の皆様に直接還元してまいります。

大学病院発の負担が少なく回復が早い医療を提供することで、重症急性期患者様の社会復帰を地域全体で支えるその中核となる病院をめざします。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

恩師からの便り

(順不同)



藤田医科大学 名誉教授
公益財団法人 豊田地域医療センター
常務理事・院長

堀口 高彦

藤田学園
退任にあたって

藤田医科大学で学び過ごした47年間は、私の人生そのものと言っても過言ではありません。

2010年に藤田医科大学医学部呼吸器内科学Ⅱ 講座教授を拝命してからは、諸先生方のおかげで全国学会会長、日本呼吸器学会専門部会会長、日本アレルギー学会・日本喘息学会の理事も務めさせていただき貴重な体験、充実した人生を送ることが出来ました。2014年にアレルギー疾患対策基本法が設立され、2017年に星長理事長、才藤学長のご尽力のもと藤田医科大学総合アレルギーセンターが全国で初めて設立されました。初代アレルギーセンター長を拝命し、アレルギー診療の全国均霑化のために尽力してきました。2021年6月10日から、豊田地域医療センター常務理事、院長を拝命いたしました。これからも、藤田学園と豊田地域医療センターが益々隆盛するように架け橋となり尽力していく所存です。藤田学園の更なるご繁栄を祈念しております。



総合大雄会病院
脳神経内科診療部長

野倉 一也

山本紘子先生の
思い出

私は1994年に当時神経内科教授であった山本紘子先生の元に赴任しました。私は先生が坂文種報徳會病院の院長に就任されるのに同行し、2021年ばんだね病院で定年を迎えました。先生は複数の門下生が赴任していた並木病院の院長でしたが2017年1月12日膵臓がんのため逝去されました。山本先生は「1リットルの涙」の著者の主治医として知られていました。日本女医会の会長で志半ばであり、悼む声がありました。博覧強記、統率力、魅力的な人柄から多くの方に尊敬されました。先生が時々語られたのは「小医は病を医す、中医は人を医す、大医は国を医す」という言葉です。先生は心身医学に造詣が深く病でなく人を診ていました。学会のみならず人を動かす政治にも興味がおありで大医を目指されていたと確信します。先生が非常にたくさんの脳神経内科医を育てられたことは最も大きな功績と思いますが、これをお読みのあなたの心にも先生の思い出が生きているのではと推察します。



藍野大学医療保健
学部作業療法学科
教授

鈴木 孝治

藤田学園で
学んだこと

令和3年3月に6年2ヶ月間お世話になりました保健衛生学部リハビリテーション学科を定年退職致しました。入職した契機は、作業療法養成校の先輩が藤田学園定年退職のため、私を招聘したことです。忙しい毎日の約6年間でしたが、20年くらいは奉職したのではという錯覚を引き起こしました。在任中には、全国規模の研究会及び学会を1つずつ主催することができ、日本作業療法士協会の養成教育委員長も務めることができました。リハビリテーション学科の特徴である臨床との強固な繋がりにより、教員でありながら多数の臨床活動とそれを基にした臨床研究が経験できたことが最高の学びであり、現在の藍野大学での勤務に多大な影響を及ぼしております。また、大きな組織の管理体制の激変を目の当たりにしたことも初めての経験で、この時期に藤田学園に在職していたことを光栄と感じております。藤田学園で学んだことを今後の教育、臨床活動に活かしてゆけると確信しております。



濁池からの景観(1989年)



藤田医科大学
医療科学部・
保健衛生学部
客員教授

羽田 道信

藤田学園を退職して

生学部保健体育助手として赴任し、昨年3月までの43年間にわたり、多くの学園の教職員や同窓生の皆様にお世話になりました。また、退職後におきましても、医療科学部及び保健衛生学部において、客員教授として微力ながらお手伝いさせていただいております。この場をお借りして、感謝申し上げます。

現在、私は豊明市社会福祉協議会理事や豊明市自主防災組織連合会副会長、とよあけ応急手当普及ボランティアの会代表、中央小学校区防災連絡会代表、日本防災士

機構防災士、日赤救急法指導員、消防庁応急手当指導員など社会活動を通し、応急手当の普及活動や発災時の安否確認方法、避難所の運営リーダーや災害ボランティアコーディネーターの養成等々行っており、助け合いのしくみづくりなど地域福祉防災活動をさらに拡充してまいりたいと考えています。

最後に、藤田学園の益々のご発展と教職員、同窓生の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

私は、昭和53年4月より、衛

同窓会からのお知らせと総会報告

専門学院部会

本年度、一月役員会会議において閉校以来の専門学院同窓会費の取り扱いについて決議されました。藤田学園同窓会に預託、今後は全学合同の催し及び卒業生会員の活動資金として運営されます。

専門学院同窓会の維持発展のために役立つことと祈念いたします。

近々、同窓会を予定されている会員の皆様は是非ご連絡下さい。合わせて個々の会員の皆様の近況をお知らせください。皆様のご活躍が機関誌に掲載されることを願います。

(専門学院同窓会長 小久保 正博 E-mail: mkokbo1947@gmail.com)

藤 衛 会

一般社団法人 藤衛会は2021年4月現在、医療科学部・保健衛生学部卒業生ならびに大学院保健学研究科修了者を合わせ13,008名から構成され、卒業式の卒業記念品(印鑑)、各学科卒業生の周年記念同窓会支援、支部設立の支援、本学関連の学会支援要請に対する補助金援助、同窓生による学術講演会の支援、在学生及び留学生の国際交流支援等を行っています。

本年度は、大学3号館(検査学科・看護学科棟)5階にAED1台を現物寄附いたしました。また、在学生のキャリア育成を目的として「オンライン医療系キャリアフォーラム」への協賛、「2020年度オンデマンドホームカミングデー企画ならびにコロナ募金広告費用」に対する支援として、学校法人藤田学園に寄附を行いました。

今後も同窓生と母校との架け橋となるよう尽力いたす所存です。同窓生の皆様方のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

藤衛会の詳細な活動につきましてはホームページでご確認ください。

<http://www.fujita-hu.ac.jp/~dousou68/index.html>

(藤衛会会長 西井一宏)

藤 医 会

令和3年4月から藤医会第6代会長の4期目を拝命して、藤田医科大学岡崎医療センターの病院特命教授を続けながら、同窓会活動に関わっております。藤田学園に入学して以来この学園のありのままを49年間にわたり直視してきましたので、様々な経緯は

熟知しております。この経験を生かして、医学部の50周年を藤田啓介先生が建学をされたときに、理想とされていた医学部に成熟させるべく全力で活動をさせていただいております。副会長を根本浩路先生(6回生)大槻真嗣先生(11回生)、篠崎仁史先生(15回生)に留任していただきバランスの良い藤医会活動ができております。私も同窓会活動の円滑な実施に大局的に取り組めるようになりました。藤田学園同窓会の皆様におかれましては、藤医会の活動にご理解を賜れますようくれぐれも宜しくお願い申し上げます。藤医会の活動としましては、年2回の会報の発行、2年に1回の会員名簿の発行、年1回の総会、卒業生の教授就任記念講演会・祝賀会の開催、および各支部の支部会訪問を行っております。残念ながらこの1年は新型コロナウイルス感染の流行に鑑み、すべてが中止になっております。詳細はホームページをご覧ください。ありがとうございました。

(藤医会会長 黒田 誠)

短期大学部会

短期大学同窓会では、全国的に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大による第五波の現状等を踏まえ、昨年に引き続き総会及び懇親会開催を中止といたしました。つきましては、2020年度活動・会計・監査報告と、2021年度の活動案・予算案・役員案、及びその他の事項については、役員への持ち回り審議として実施させていただき、11月初旬にご承認を頂きましたので、報告させていただきます。

2019年11月末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、現在も全世界に拡大して社会・経済的な活動、そして私たちの日常生活にも大きな影響を与えています。毎年、各卒業生で開催されている同窓会も、今年も自粛されているようで、開催されたとの報告はありません。卒業生同志の親睦と情報交換の場となる貴重な同窓会が、開催できないことは非常に残念でなりません。

しかし、このような状況ではありますが、短期大学同窓会の皆様には、ご健勝でご活躍されることを心からお祈り申し上げますと共に、今後とも短期大学同窓会にご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症が早期に終息し、同窓会の皆様が以前と同じ健やかな日常生活を取り戻されることを、心から願うばかりです。今はじっと我慢と忍耐の時と考え、それぞれで感染回避と健康管理をして頂き、ウィズコロナを生活の中に組み込みながら、健康で過ごされることをお祈り申し上げます。

(短期大学同窓会会長 川井 薫)

看護専門学校部会

看護専門学校部会では、藤田学園同窓会を全面的にバックアップしております。主な活動内容は次の通りです。

新卒業生、既卒者及び学生名簿の管理を藤田学園同窓会名簿委員会と協力して行っております。(住所変更、勤務先変更の際は是非お知らせください。)また、藤田学園同窓会奨学基金への資金援助や新卒業生への卒業記念品贈呈(ナースウォッチ)、教育教材(新型コロナウイルス対策関連用品等)寄贈などです。

藤田学園の発祥である看護専門学校は、50年余に渡って、藤田学園関連病院の看護職員を輩出してきましたが、その役割は、2022年3月末日をもって終了いたします。看護専門学校の閉校に関連する事業につきましては、同窓会としてできるかぎりの支援をさせていただきたいと考えております。

2021年4月24日(土)に看護専門学校同窓会総会をWebにて開催いたしました。次年度の総会は、2022年4月23日(土)14時から、Webにて開催予定です。

2021年3月に第19回生37名が卒業(看護専門学校累積数3,748名)し、ほとんどが藤田学園関連の病院で勤務しています。

同窓会からのお問い合わせ先等につきましては、今後、あけぼの杉や同窓会ホームページ等でお知らせしていく予定です。

卒業生の動向についても同窓生にお知らせしたいと思います。同窓会等を行われた際には、是非お知らせください。あけぼの杉に掲載したいと思います。

(看護専門学校同窓会長 小島登美香)

連絡先：2022年3月31日まで：

藤田医科大学看護専門学校同窓会事務局
(電話番号 0562-93-2593、FAX 0562-93-9394)
2022年4月4日から：藤田学園同窓会事務局
(電話番号及びFAX 0562-93-5674)
月～木 10：00～17：00

カズモス部会

カズモス同窓会は、学園同窓会と歩調を合わせて同窓生の親睦を計り、学園の発展に寄与していく所存です。また、一昨年より新型コロナウイルス感染症のため同窓会総会等を自粛してまいりましたが、2023年2月に同窓会開催を予定していきたいと思っております。

最後に、新型コロナウイルスの完全終息と同窓生並びに関係者の皆様のご健康とご活躍を祈念し、次回元気に出会い出来ることを楽しみにしております。

(カズモス同窓会会長 兼田道男)

リハ専門学校部会

リハビリテーション専門学校は、2007年3月に閉校してもうすぐ14年を迎えます。現在は、リハビリテーション専門学校から保健衛生学部リハビリテーション学科に移行し、療法士の育成に力を注いでいます。多くの卒業生が全国各地や海外でも活躍しています。

リハビリ専学同窓会の活動としては、藤田医科大学リハビリテーション学科卒業後研修会として動作解析やFIMに関する研修会を実施しています。その他、藤田学園同窓会主催でホームカミングデーを毎年開催しています。ホームカミングデーでは、全学科の同窓生対象に対面で交流会を行なっています。今年度も新型コロナの関係でオンデマンドの開催になりましたが、是非興味のある方は参加して昔の仲間と会って交流して頂ければと思います。

(リハ専門学校同窓会 山田将之)

同窓会からのお知らせ

『'23名簿 藤田学園同窓会誌』の発行を予定

2021年3月で大学院を含む同窓会員数は延べ32,671名になりました。一方で、住所不明者数の合計は5,962名で、全会員数の18.2%です。物故者は366名です。同窓会では5年毎に名簿を発行いたします。次回は2023年9月に『'23名簿 藤田学園同窓会誌』の発刊を予定しています。

会員の皆様の住所変更は同窓会のホームページから登録することができます。会員の皆様の継続した動向調査・不明者追跡調査への協力をお願いします。皆様からご登録いただいた個人情報(藤田学園同窓会個人情報保護方針に則り厳重に管理いたします。特に登録いただいた電話番号、メールアドレスなどについては外部へ出ることはいっさいありません。

会員名簿は会員の皆様と母校を結ぶ「絆」であり、同窓会の大切な財産であります。皆様のお力でより大きく成長させていただきたく存じます。

2022年 藤田学園ホームカミングデーの開催！

ホームカミングデーとは、藤田学園と同窓会が卒業生の皆様に母校にお招きし、懐かしい母校の見学、恩師・学友との再会、学部・学校・学年を超えた交流の輪を拓けていただくための企画です。また、卒後30年、40年、50年目の卒業生には「永年社会貢献」表彰を行います。

新型コロナウイルス感染症蔓延のため2年間のブランクがありましたが、「2022年 藤田学園ホームカミングデー」を下記のように開催いたします。卒業生は、何方でも参加できます。この機会にクラス会あるいはクラブ会を企画しませんか？

参加は無料です。受付は8月1日(月)からです。同級生や部活仲間でお誘い合わせの上、同窓会ホームページよりお申し込み下さい。ご家族同伴での参加も「OK」です。

記

日 時：2022年10月29日(土)18：00～20：00

場 所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

参加費：無料

同窓会へのお問い合わせ

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

藤田学園同窓会事務局

電話・ファックス：0562-93-5674

e-mail：dosokai@fujita-hu.ac.jp

http://www.fujita-hu.ac.jp/dosokai/

開局：月～木、10：00～17：00

各ホームページへのQRコード

藤田学園同窓会

<http://www.fujita-hu.ac.jp/dosokai/>



大学紹介

<https://youtu.be/pzn61puyejw>



ホームカミングデー

<http://www.fujita-hu.ac.jp/dosokai/homecoming/schedule.html>



病院紹介

<https://youtu.be/Ty1tbqs0b5E>



我慢人形・祈り人形

第42回 一般社団法人藤田学園同窓会 総会議事録

日 時：2021年11月13日(土)15:00～16:00

場 所：藤田医科大学3号館 1F101 講義室

代議員：38名(内委任状16名)／56名

理 事：15名／21名

監 事：2名／3名

事務局：1名

開会に先立ち、志半ばにして逝去された同窓生と藤田学園教職員に対し黙祷が捧げられた。

I. 開会の辞

II. 会長挨拶

III. 議長選出

定款19条に則り、10月19日に開催された理事会の承認により副会長が議長に選任された。

IV. 代議員紹介

各部会から選出された2019年度～2022年度代議員が紹介された。

V. 議事

1. 2020年度事業報告

2020年度において以下の事業が行われたことが報告された。

1)新規学生会員の受け入れ

医療科学部、保健衛生学部、医学部の新入学生617名が入会

2)会員相互の親睦や扶助に関する事業

①2020オンデマンドホームカミングデー開催(2020年10月30日～)

②2020オンデマンドHCD開催予告とコロナ募金チラシの郵送

3)部会・支部活動支援等に関する事業

該当なし

4)会員の教育と資質向上に関する事業

会員が主催する学術大会の支援(4件)

5)学生会員育成に関する事業

本年度は、奨学金基金への積み立てはなし

6)会員の就職活動支援に関する事業

卒業生就職先の内部資料の作成

7)機関紙、会員名簿及び動向調査に関する事業

①「第40号あけぼの杉」の発刊、「第41号あけぼの杉」の編集

②会員数：32,671名、住所不明者：5,962名、物故者：366名

8)学校法人藤田学園の後援に関する事業

入学・卒業記念品の贈呈など

9)その他の事業

代表理事・理事新任登記など

10)奨学金基金事業

①卒業生9名より奨学金の返還

②5名の奨学生を採用

11)獨創一理基金事業

年表ディスプレイ用映像の作製・上映

2. 2020年度決算報告

2020年度収支について収支決算が報告された。

3. 2020年度監査報告

2020年度収支および財産目録について監査報告が行われた。

【採決】2020年度事業、収支決算、監査報告について採決の結果、満場一致で承認された。

4. 2021年度事業計画案

以下の事業計画が提案された。

1)新規学生会員の受け入れ

医療科学部、保健衛生学部、医学部の新入学生619名が入会

2)会員相互の親睦や扶助に関する事業

①2021年オンデマンドホームカミング企画(2021年10月30日(土)から開催)

②2022年HCDの企画(2022年10月29日(土)開催予定)

③中日新聞社会事業団を通して激甚災害支援事業

2)部会・支部活動支援等に関する事業

支部設立支援、支部総会・親睦会支援、同窓会部会の支援、県人会開催の支援

3)会員の教育と資質向上に関する事業

学会、学術集会、研修会、研究会の支援、会員の研究補助

4)学生会員育成に関する事業

藤田学園同窓会奨学金基金募金の実施

5)会員の就職活動支援に関する事業

キャリア支援課と協力し、会員の就職活動支援

6)機関誌、会員名簿及び動向調査に関する事業

機関誌「あけぼの杉」発行と名簿管理メンテナンス

7)学校法人藤田学園の後援に関する事業

入学・卒業記念品の贈呈、学園祭の協賛、学生環境改善プロジェクト支援等

8)その他の事業

会議の開催、ホームページ管理、同窓会事務の運営・管理

9)奨学金基金事業

基金の充実、奨学金貸与・返還

10)獨創一理基金事業

獨創一理祈念館、祈念室の運営・維持、種々モニュメントなどの保存・展示

5. 2021年度予算案

2021年度予算が提案された。

【採決】2021年度事業計画および予算について採決の結果、満場一致で承認された。

6. 理事及び役員について

【採決】各部会より推薦された2021/2022年度の理事が承認され、会長以下新役員の就任が承認された。

7. その他

①医学部部会選出の代議員1名が辞任し、新代議員1名が就任したことが報告された。

②先の理事会において事務局長が選出・再任されたことが報告された。

8. 質疑応答

学生専用バスの運行支援について質問があった。運行目的として、患者と学生のバス利用を区分することによる感染予防が期待できることなど、また具体的支援方法などについて回答がなされ、了解が得られた。

VI. 議長解任

VII. 閉会の辞



総長住宅跡地の十一面観音菩薩像(七栗)

2022年度 入学試験スケジュール

藤田医科大学 大学院

研究科名称	課程	試験区分	募集人員	出願期間(締切日必着)	試験日	合格発表日	試験会場
医学研究科	医学専攻 (博士課程)	第一次募集	52名	7月 7日(水)から 7月16日(金)まで	8月 2日(月)	8月27日(金)	本学
		第二次募集		1月12日(水)から 1月21日(金)まで	2月 3日(木)	2月25日(金)	本学
	医科学専攻 (修士課程)	第一次募集	5名	7月 7日(水)から 7月16日(金)まで	8月 2日(月)	8月27日(金)	本学
		第二次募集		1月12日(水)から 1月21日(金)まで	2月 3日(木)	2月25日(金)	本学
保健学研究科	医療科学専攻 (博士後期課程)	第一次募集	8名	8月16日(月)から 8月27日(金)まで	9月 6日(月)	9月13日(月)	本学
		第二次募集		1月24日(月)から 2月 4日(金)まで	2月14日(月)	2月21日(月)	本学
	保健学専攻 (修士課程)	第一次募集	50名	8月16日(月)から 8月27日(金)まで	9月 6日(月)	9月13日(月)	本学
		第二次募集		1月24日(月)から 2月 4日(金)まで	2月14日(月)	2月21日(月)	本学

藤田医科大学 医学部

学科名称(定員)	試験区分		募集人員	Web出願期間【書類提出期限】	試験日	合格発表日	試験会場
医学科(120名)	ふじた未来入試		高3枠と 高卒枠 合わせて 12名	10月 1日(金)から 10月29日(金)まで 【11月 1日(月)必着】	一次:11月 7日(日)	11月11日(木)	本学
					二次:11月14日(日)	11月19日(金)	本学
	一般入試	前期	一般枠:73名 地域枠: 5名	11月29日(月)から 1月12日(水)まで 【 1月13日(木)必着】	学科: 1月20日(木) 面接: 1月28日(金) または 1月29日(土)*	1月25日(火) 2月 2日(水)	東京・名古屋・大阪 本学
		後期	一般枠:10名 地域枠: 5名	1月25日(火)から 2月27日(日)まで 【 2月28日(月)必着】	学科: 3月 4日(金) 面接: 3月14日(月)	3月10日(木) 3月15日(火)	東京・名古屋 本学
	共通テスト 利用入試	前期	10名	12月 6日(月)から 1月14日(金)まで 【 1月17日(月)必着】	一次:大学入学共通テスト 二次: 2月16日(水)	2月10日(木) 2月18日(金)	 本学
		後期	5名	1月25日(火)から 2月27日(日)まで 【 2月28日(月)必着】	一次:大学入学共通テスト 二次: 3月14日(月)	3月10日(木) 3月15日(火)	 本学

* 出願時に希望する日を選択してください。出願後の面接試験日の変更は認めません。

藤田医科大学 医療科学部・保健衛生学部

募集人員

学 部	学 科	定 員	推薦入試		アセンブリ 入試	一般入試		共通テスト利用入試		共通テスト プラス入試
			一般公募制 [専願]	一般公募制 [併願]		前 期※3	後 期	前 期	後 期	
医療科学部	医療検査学科	140名	30名	10名	3名	60名	10名	15名	5名	7名
	放射線学科	90名	20名	10名	3名	30名	5名	7名	5名	10名
保健衛生学部	看護学科	135名	30名※1	—	3名	70名	10名	14名	3名	5名
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	70名	10名※2	—	3名	38名	5名	8名	3名	3名
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	45名	5名	3名	2名	24名	2名	5名	2名	2名

※1 一般公募制推薦 [専願]、専門高校(看護)推薦若干名、社会人自己推薦若干名、指定校推薦・MOU指定校15名程度を合わせた人数

※2 一般公募制推薦 [専願]、MOU指定校を合わせた人数

※3 [A日程] [B日程] とともに合わせた人数

入試日程

試験区分	出願期間(締切日必着)	試験日	合格発表日	試験会場
推薦入試・特別入試	11月 1日(月)から 11月15日(月)まで	11月20日(土)	12月 1日(水)	本学
アセンブリ入試 (総合型選抜・二段階選抜方式)	11月17日(水)から 12月 6日(月)まで	第1次試験 12月11日(土) 第2次試験 12月25日(土)	12月16日(木)※4 12月28日(火)	本学
一般入試(前期)	A日程 1月 4日(火)から 1月19日(水)まで	1月26日(水)	2月 4日(金)	本学(医療検査・放射・リハ) 名古屋(看護)・東京・金沢・浜松・四日市・大阪(全学科)
	B日程 1月 4日(火)から 1月22日(土)まで	2月 2日(水)	2月10日(木)	本学
共通テストプラス入試	1月 4日(火)から 1月22日(土)まで	一般入試(前期) [A日程] [B日程] 大学入学共通テスト	2月15日(火)	
共通テスト利用入試(前期)	1月 4日(火)から 1月22日(土)まで	大学入学共通テスト 1月15日(土)・16日(日)	2月15日(火)	
共通テスト利用入試(後期)	2月17日(木)から 3月 7日(月)まで		3月15日(火)	
一般入試(後期)	2月 1日(火)から 2月16日(水)まで	2月23日(水・祝)	3月 2日(水)	本学

※4 第1次試験結果発表日

入学試験に関する
問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
藤田医科大学大学院
医学研究科 TEL 0562-93-2898
保健学研究科 TEL 0562-93-2504・9080

URL <https://www.fujita-hu.ac.jp/>
藤田医科大学
医学部 TEL 0562-93-2493
医療科学部・保健衛生学部 TEL 0562-93-9959